

青牛式トレードマスター講座

チャートの分析環境

○テクニカルインディケーター



種 類	Bolinger Band	EMA
設定値	期間 20 -2 σ のみ表示	期間 10 ・ 25 ・ 75 ・ 180 ・ 200

個人的な考えとしては、インディケーターは少なければ少ないほどいいと考えています。多くても2つでしょう。

青牛式トレードマスター講座

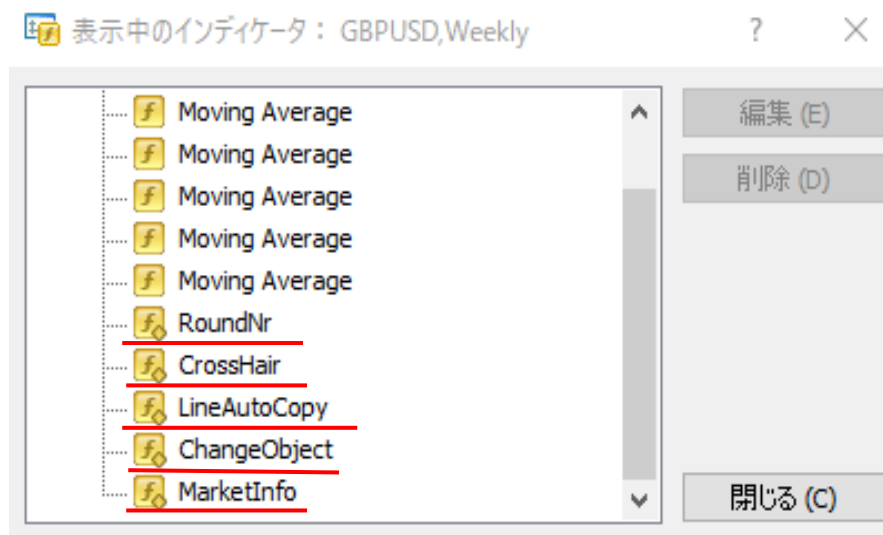
それ以上は脳が情報を処理できず、いつまでたっても得意なパターンを構築できない大きなリスクがあります。

ここだけは、強めに言うておきます。

テクニカル分析に使うインディケータは、多くても2つまでにすること。

○マルチタイムフレーム分析に便利なインディケータ

マルチタイムフレーム分析を効率的に行う上で、MT4の設定に一手間加えることが必要だと考え、次のようなインディケータを導入しています。



青牛式トレードマスター講座

〈ライン関係〉

- ・ Line Auto Copy
- ・ Change Object
- ・ Cross Hair

〈時間関係〉

- ・ Market info

〈レート関係〉

- ・ Round Number

といったインディケーターを入れています。

私にとっては、チャート分析に欠かすことができないツールですが、取り入れるかどうかはご自身で判断してください。

販売元 <https://www.gogojungle.co.jp/users/160909/products>

青牛式トレードマスター講座

○時間軸ごとのラインの色分け

上記のようなインディケーターを使っている一番の理由は、時間足ごとに節目となるレートが異なるため、今どのラインにアプローチしているのかということ
を明確に把握するためです。

Line Auto Copy は上位足で引いたラインを自動で下位足にコピーしてくれ、さらに Change Object は、時間足ごとにラインの色を設定できるため、上位足で引いたラインの色をその都度、下位足で合わせる操作をする必要がないため、かなり効率的に複数時間足でライン設定を同調管理させることができます。

具体的な色分けは、



青牛式トレードマスター講座

MN・W1・D1	イエロー
H4	ライム
H1	マゼンダ
M30	アクア
M15・M5	ホワイト

といった感じです。



Cross Hair は、すべての時間足の「同じポイント」を一瞬で表示させることができ、過去のパターンを探る時に重宝しています。

Market info については、その時間足があと何分で確定するのかを時間足ごとにカウントダウンしてくれるもので、ローソク足が確定するタイミングを形成

青牛式トレードマスター講座

過程に応じて直感的に把握できるため、地味な機能ではあるものの大いに助けられています。

Round Number は、俗にいうキリ番のレートを表示するインディケーターです。使い方は、サポートレジスタンスと同じですね。



トレード環境や使いやすい MT4 の設定については個人差があるでしょうから、自分が最も効率的に分析できる方法を考えてみてください。

少しでも参考になれば幸いです。

あをうし